

ニューロフィードバック

BCIA認定資格取得

ご希望の方へのご案内
(医療従事者・有資格者対象)

1 BCIA認定試験受験のための要項

米国のバイオフィードバック・ニューロフィードバックの認定資格を発行している本部機関BCIAによる認定試験を受けるための要件は：

- ◆ 医療・保健の四年制大学を卒業していること
 - ◆ 米国外の申請者は、自国（日本）の政府が発行・認定している有効な医療の免許を保有していること
- となります。

上記要件が満たされていると、受験申請ができます。

下記の手順で、BCIAの試験の受験申請をしていただくことで、米国本部でBCIAニューロフィードバック認定試験問題の日本語で受験できるようになります。

（日本語化作業を進めてくれるようDr.伊藤が本部からの確約得ています）

BCIAのニューロフィードバックの資格試験の受験申込をしていただくには？

【予め用意しておくもの】

- ① 医療系免許証（医師・看護師・心理士等）
- ② クレジットカード

下記URLの一番下から進みます：

<https://bcia.memberclicks.net/nf-entry-level>



QRコード

To schedule the exam, you must:

- File your **Exam Registration Form** and we will connect you with our online proctor to register in their system. This service allows you to take your exam from anywhere, including your own computer with no travel required.
- Pay your fees: \$300 certification exam fee. In addition, there is a \$20 fee paid directly to the proctor. ****APPLICATION FOR EXAM AND ALL FEES MUST BE PAID AT LEAST 1 WEEK PRIOR TO PREFERRED EXAM DATE.**

[Click here to complete NF Entry Level Professional Certification Application](#)

© Copyright 2023 BCIA. All rights reserved.
12500 W 58th Ave., Suite 200
Arvada, CO 80002-1104
(720) 502-5829
info@bcia.org
[Privacy Policy/Terms and Conditions of Use](#)

[Back to top](#)

powered by MemberClicks

医療系免許証は、医師の場合は医師会が発行している「医師資格証」をお持ちでしたら、和英両言語で表記されているので、OKです。

心理士、看護師、他有資格者の方、そして医師で医師資格証をお持ちでない場合は「免許証」を公式機関で英訳したものを提出する必要があります。公式機関は(<https://naces.org/members/>)に記載されている機関に限定されます。

ご自身で、nacesの登録機関で公式英訳を依頼するか（だいたい1週間以内で、7000円～1万円できます）、もしご自分での手続きが難しい場合は、こちらで代行もできます。

その場合はお手数料1000円頂戴します。訳す免許証のPDF（写真撮影したものではなく、きれいにスキャンしてPDF化したもの）をm.itoh@hchl.orgまでお送りください。

よろしければMentorの欄にMITSUKO ITOH と入力ください。私（伊藤明子）のBCIA NoはE 7223です。

申請費用は\$150です（約22000円）。

2年以内に実際の受験のときに\$300と、オンライン試験会社に\$20を支払います。

申請申込をしてから2年間有効です。

手続きの中で「受験日」を記入する欄には、約1年後の日時を仮に入力してください。

後日、変更できます。（受験申込から2年間有効）

署名欄は電子署名を貼るか、あるいは、普通に自分の名前をタイプしても大丈夫です。

Login

Applicants currently certified in another modality may sign in here:

Username

Password

[Forgot Password](#)
[Forgot Username](#)

New Applicant
If you are a new applicant, enter your email address below to begin the application process.

Email

By providing your email address, you agree to receive emails from Biofeedback Certification International Alliance.

certified in another modality may sign in here:

Please create a password

Password

Insert your password

Confirmation Password

Insert your confirmation password

NF Entry Level Cert

Application for Entry Level Professional Board Certification in Neurofeedback

To be considered, all applications must include a signature and a non-refundable filing fee. Please use the same name on all correspondence. If unlicensed, documentation of a BCIA-approved healthcare degree is required.

All International applicants for BCIA certification programs, outside of the US and Canada, must carry a valid government-issued license/credential that regulates clinical health care practice.
Please complete this form, providing documentation as instructed in each item below.

Applicant Information

Application for Entry Level Professional Board Certification in Neurofeedback

To be considered, all applications must include a signature and a non-refundable filing fee. Please use the same name on all correspondence. If unlicensed, documentation of a BCIA-approved healthcare degree is required.*

☐ I agree to the statement above and understand the application fee is nonrefundable. - \$150.00

☐ Student: Click here if you are a student currently enrolled in an advanced degree (Master's or PhD) BCIA-approved healthcare degree program at a college/university. A copy of your current transcript must be uploaded to qualify for Student rate. - \$50.00

Name *

First Name

Last Name

Suffix, Professional Designation(s) *

By the city, state and zip will appear in the Find a Practitioner area of the website. Please pick the criteria that represents your clinical practice.

- ① メールアドレスを入力します。 ② パスワードを入力します。（2か所） ③ 必要事項を入力します。

Mentoring: Practical Neurofeedback Training – 25 contact hours with a BCIA approved mentor
Please see Mentoring Guidelines for Board Certification in Neurofeedback. An approved Mentor's Application must be on file. Mentoring Contact Hours refer to the 25 hours of time spent to review 1, 2 and 3.

1. Personal Neurofeedback Training Demonstrating Ability to Self-Regulate - 10 sessions
2. Clinical Neurofeedback Treatment with Clients/Patients - 100 sessions
3. Neurofeedback Case Studies - 10 Presentations

When mentoring is complete, mentor must submit Essential Skills Checklist, Mentoring Log and/or Mentoring Statement.

Name of Your Mentor (if known)

MITSUKO ITOH

Mentor Phone Number

Mentor BCIA Certification #

E7223

Upload Mentoring Log / Essential Skills Checklist

[ファイルの選択](#) ファイルが選択されていません

Exam
When you have been notified that your application has been accepted, you may make plans to take your certification exam using the online exam option. Requirements may be met in any order and do not have to be completed prior to the exam; however, it is recommended that the requirements be completed in this order: neuroanatomy, neurophysiology or physiological psychology course; didactic education; mentoring; and lastly the exam.
Entry Level Professional: The \$300 certification fee must be paid prior to scheduling the exam.

Signature

Signature *

Date *

Submit

- ④ メンター記載欄に
「MITSUKO ITOH」
No. は「E 7223」と記載。

- ⑤ 署名欄は電子署名を貼るか、あるいは、普通に自分の
名前をタイプしても大丈夫です。
全て入力が完了しましたら、「Submit」をクリックします。

【受験方法】

申請から2年以内に受ける認定試験はパソコンでのオンライン試験です。

100問のマルチプルチョイス（4択または5択問題）、制限時間3時間、AIとカメラにより監視（カメラの向こう側で人間の試験監が不自然な動きをしないか見張っています。世界中どこでも24時間受験可能）



2 BCIA認定試験受験のための必修項目

受験申請申込をしてから、2年以内に下記の5つの条件をクリアする必要があります。
資格認定に必修です。

① 36時間分ニューロフィードバック座学 BCIA認定公式テキスト

PDF電子版。180,000円＋消費税＝198,000円

米国BioSource社のNeurofeedback Tutor: An Introductionの忠実な和訳版。

各単元の最後に小テストがあり、オンラインで受験します。

全単元の小テスト受験(正解70%以上)をもって修了証書が発行されます。

★キャンセルポリシー：上記①のPDF教材については一旦購入後は、返却返金は不可。

② 症例提示10例

(できれば初診から終診ディスチャージまで)うち一例は自分自身の症例。

自分自身の症例はセルフレギュレーション、ピークパフォーマンス系プロトコルでOK。

症例記載用のフォーマットは後述(参考フォーマット)。

③ 合計100セッションの記録

少なくとも6人にセッション10週以上実施(約2.5～3か月)。

実際にデバイス接続してセッションを実施した記録(上記症例提示の回数をふくめて可)。

④ Essential Skills List(後述)に記載されているスキルの獲得

スキル獲得されているかを、メンタリングのときに確認をしていき、メンターがチェックマークを入れていきます。

これらのスキルが獲得できるようお手伝いしますので心配は不要です。

⑤ メンター25時間。ZOOM可能。グループでも可能。有料

(メンター料金は各メンターが自由に決定。相場は1時間あたり\$75～\$200。1ドル＝¥145の場合、約11,000円～22,000円)

伊藤明子をメンターとする場合、相場の下限、お一人1時間11,000円(税込み)の予定。

メンターのスケジュールはお申込者の方とのスケジュール調整で決めます。

36時間座学講習を受講し、10の症例を集めてからになるので、たとえば早くても2025年11月ごろからでしょうか。グループで実施するので曜日と時間を予め決めて行います。

一度に90分として週に1回行おうとすると半年で完了です。

※注意①BCIAでは「メンター」と「スーパーバイズ」を明確に分けています。

各時間、双方で記録必須。記録はBCIA指定の用紙(後述)を使えます。

※注意②メンターの時間に機器の操作方法、ソフトの使用方法などの説明は含めてはいけませんと規定されています。

下記の2つは任意になります。

学習のポイントや試験対策をされた方はおすすです。

① 解説動画45分×4本

必修科目①の教材を理解し、臨床に活用するためのポイントなどを動画で伊藤明子が解説します。

②『受験直前対策講座』

伊藤明子が実施予定。LIVEまたはオンライン。「ここ試験にでますよ!」という講座。有料。(料金は追って)

*資格取得までのおおよその費用:合計およそ50万円+デバイスの費用

内訳:受験料合計約46,000円、教材約20万円、メンター約25万円

(すぐに必要な金額は受験申請料の\$150=約22,000円)

ニューロフィードバックのセッションを患者さん方に実施していくことで、この「投資」の元は取れます。

実施例:セッション1回の料金11000円、セッション実施回数が1日に2回としても、週に3日実施すると、ひと月に24回。

ふた月で損益分岐点到達。

デバイスをどれを購入するかによりますが一番手頃なタイプでしたら3ヵ月で損益分岐到達)

3 Essential Skills List ニューロフィードバック必須スキルリスト

下記のスキルリストは、BCIAで認定を受ける際に必要なスキル一覧です:

9a版(2005年4月)(注:この必須スキル一覧は定期的に更新されます)

和訳 伊藤(注:原文でclientは下記和訳分では「患者さん」と訳してあります)

ニューロフィードバックを始めたばかりの施術者は、以下の基本的なスキルを習得していることを証明できなければなりません。

◆患者さんへのオリエンテーション

- ① ニューロフィードバック、自己統制(セルフレギュレーション)の概念、脳波活動のオペラント条件付けについて平易な言葉で新しい患者さんに説明できる。
- ② ニューロフィードバック・トレーニングの主なプロセス(初診時の問診、評価、記録・ふりかえり等)について説明できる。
- ③ ニューロフィードバックのプロセスにおける患者さんの役割と責任を説明できる。
- ④ 初回セッションで、ニューロフィードバックセッションの流れとデバイスの機能について説明できる:
 - 皮膚の準備の目的と手順
 - 電極装着の手順とセンサー装着部位の選択;"センサー"/電極の安全性について患者さんが安心できるよう説明する。
 - フィードバック画面の主な特徴、振幅、周波数および/またはZスコアの意味を説明
 - 患者さんの活動と画面上のフィードバックの変化との関係
 - セッションの記録と進行モニタリング画面
- ⑤ 事細かなインフォームド・コンセントを用いて、トレーニングに対する患者さんの承諾を書面で得る。

◆初診時間診、評価、プロトコルの選択

- ① 患者さんの症状や服薬歴を詳細に記録し、トレーニングの目標に関連する背景情報を収集する。
- ② 以下のスキルを用いて、脳波のベースライン評価をしっかりと行う：
 - 国際10-20システムの各電極設置部位を頭皮上に指定し、その位置を正しく測定する。
 - 頭皮と耳を適切に準備し、選択した評価部位に電極を装着するか、フルキャップ定量脳波計（QEEG）を使用する場合は電極キャップを装着する。
 - qEEG記録またはマルチチャンネルEEG評価を行うためのすべてのステップを正しく行う：インピーダンスのチェック、アーチファクトの除去、開眼および閉眼データの収集
 - qEEG評価報告書の基本的な理解と、qEEGデータベース一般的な構成要素（絶対パワー、相対パワー、位相、コヒーレンス、zスコア比較など）を理解する。
 - 神経内科医または脳波の専門家へのコンサルが必要なスパイク波など異常脳波を特定する。
 - 初診時の問診、心理検査、ベースライン脳波評価データをすべて使用して、ニューロフィードバック・トレーニングの目標電極配置部位とモニタージュを選択する。
 - 最初のニューロフィードバック・プロトコルを選択し、その根拠を患者さんに説明する。

◆ニューロフィードバック機器の使用とメンテナンス

- ① 選択したニューロフィードバック機器の操作について十分な知識を示す：
 - ハードウェアを正しく接続し、ハードウェアを起動する。
 - ハードウェアに電極を正しく接続する。
 - 生のEEG信号における一般的なアーチファクトの原因を特定し、取り除く（またはコントロールする）。
 - メーカーの推奨に従って、一般的な機器の故障のトラブルシューティングを行う。
- ② 選択した機器に適切なソフトウェアを熟知している：
 - ニューロフィードバックトレーニングソフトウェアを正確に選択し、インストールし、実行する。
 - 選択したソフトウェアパッケージのコンポーネント、アプリケーション、および限界を特定する。

◆ニューロフィードバックセッションの管理と報告

- ① 以下の手順を含むニューロフィードバック・トレーニングセッションを実施する：
 - 最初のトレーニングセッションで、患者さんに最初のオリエンテーションと指示を行う。
 - 次のセッションの前に、患者さん（および/または親）に口頭で、かつまたはセッション前のアンケートで、前回のセッションへの患者さんが感じたよかった点、よくなかった反応などを尋ね記録する。
 - 電極の装着（および洗浄）において、基本的な衛生手順に則って実行する。
 - 患者さんに、セッションのトレーニング目標を伝え、患者さんからのフィードバックに耳を傾け、患者さん側の役割についても話す。
 - アプリケーションプログラムを起動し、選択したプロトコルのパラメータを設定し、基本的プログラムを実行する。
 - 必要に応じて、最初のトレーニングの閾値を設定し、必要に応じて調整する。
 - セッション記録に現れるアーチファクトの原因を特定し、取り除く。
 - セッション記録をモニターし、必要に応じてセッション中にコーチングや補足的な口頭フィードバックを患者さんに行う。
 - 機器のガイドラインに従ってセッションデータを保存し、患者さんとセッション結果をレビューする。
 - セッションのトレーニング目標をサポートし補足する宿題を患者さんに課す。

◆ニューロフィードバックセッションの管理と報告(つづき)

- 合併症を避けて成果を最大化するために、必要に応じて、患者さんの担当医および/または同時にその患者さんの診療にあたっている他の医療者らと相談する。
 - ニューロフィードバックが患者さんに効果がないことがわかった場合、トレーニングの過程でできるだけ早くその旨、特定し、進歩がえられない原因を特定し、必要なプロトコルやその他のトレーニングプログラムの調整を行い、必要な場合はニューロフィードバックの終了を勧める。
 - 患者さんと協力しながら、ニューロフィードバックのトレーニングの目標がいつ達成されたかを判断し、トレーニングの終了とフォローアップの計画を一緒に立てる。
 - BCIA、AAPB、ISNRの倫理規範に従って、ニューロフィードバック・トレーニングを行う。
- ② 以下を含む、整然とした最新の患者記録を作成管理する。
- セッションごとのトレーニング記録、セッション中の出来事、患者さんのコメント
 - トレーニングの結果に影響を与える可能性のある、患者さんの服薬の変更、生活の大きな変化、アレルギーなど。
 - 患者さんの健康にかかわる他の医師・心理士・、家族、教師などとのコンサルテーションの記録・報告。

◆補足的な治療法およびトレーニング法の使用

- ① 基本的なカウンセリングやコミュニケーションスキルを用いて、患者さんやその家族と前向きで建設的な関係を築く能力を実証する。
- ② メンタルヘルス診断を受けている患者さんに対して、ニューロフィードバックを補う適切なカウンセリングを用いるために必要な十分なトレーニングを受け、そのスキルを証明する。
- ③ アルファ・シータ・ニューロフィードバック・プロトコルの使用について、適切なトレーニングを受けたことを証明する。アルファ・シータ・トレーニングに適切な患者さんを選択し、これらのプロトコルを適用するスキルをもっていることを示すこと。
- ④ ニューロフィードバックと併用する他のニューロモデュレーション法(HRVバイオフィードバック、AVS、CESなど)について、適切なトレーニングを受けたことを示し、個々の患者さんに対して適切な選択をし、使用できるスキルがあることを示すこと。



1. 患者基礎情報、主訴 例) T.R.は9歳男児、5歳のときにADHDと診断。不安強い。薬物療法なし
2. 患者背景 ◦出生時、乳幼児期特記事項
小児期・思春期・青年期
◦学校・職業
◦心理社会歴、人間関係・家族歴
◦本人既往歴（物質乱用含む）
3. 身体所見
4. 心理検査、発達検査、血液検査結果、画像検査結果など
5. 現症 初診時
適応状況、過去、ほか
障壁、弱点、強み
予後(ニューロに適しているか否かを含め)
6. 診断プロファイル DSM Q/EEG findings / EEG phenotyp(実施の場合のみ)
7. 治療プラン/ニューロフィードバック・プロトコル
8. 評価:その後の進捗、戦略

【お問合せ】 ご不明な点などございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください。



mail : info@hchl.org